

「フライアッシュ混合コンクリートの標準使用」 の概要について（能代火力発電所の取り組み）

平成２２年４月より秋田県が発注する能代・山本地域（能代市・山本郡）の公共事業においては、原料の一部に当社の能代火力発電所から発生する石炭灰（フライアッシュ）を混合したコンクリートを標準使用しております。このように、自治体の公共事業においてフライアッシュ混合コンクリートを標準使用する取り組みは、全国で初めてとなります。

この取り組みによって、石炭灰（フライアッシュ）の有効利用を図るとともに、秋田県内で生成されるフライアッシュを同県内で消費するという「地産地消」の流通体系が確立することとなります。これにより、県外からのセメント原料の搬入が抑制され、輸送に伴う環境負荷の低減が図られるものです。

（表１）連名受賞４者の役割

受賞者名	各者の役割
秋田県建設交通部	フライアッシュ混合コンクリートの標準使用に関する制度の運用
能代山本生コンクリート協同組合	フライアッシュ混合コンクリートの製造、販売
東北発電工業株式会社能代支社	石炭灰（フライアッシュ）の製造、販売
能代火力発電所	石炭灰（フライアッシュ）の産出



（図１）石炭灰（フライアッシュ）



（図２）フライアッシュ混合コンクリートで
製造された消波ブロック